一般社団法人日本建設業連合会

会　長　山内　隆司
副会長・土木本部長　宮本　洋一
副会長・建築本部長　押味　至一

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館内
電　話　03-3553-0701
URL http://www.nikkenren.com

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
日建設計
代表取締役社長　亀井忠夫
東京都千代田区飯田橋2-18-3　Tel. 03-5226-3030
http://www.nikken.jp

建設業の楽しさ 魅力にふれる

東京港クルーズ・大型船ターミナル 建設現場見学

子供たちは女性技術者の説明に耳を傾けていた

8月2日に東京都江東区で大型船ターミナル建設工事の見学が行われた。参加したのは小学生1―6年生を含む13人。

工事事務所で工事の説明を聞いた後、船に乗り東京湾へ出航。船上から建設現場を見学した。現在、東京都はお台場の海上に大型客船が寄港できるターミナルを整備しており、20年の供用開始を目指す。ターミナルへ続く連絡通路の建設工事が着々と行われており、海中に打たれたくいの上に道路の受け台が建設されていた。連絡通路は五洋・みらい建設JVなどが施工している。

日本建設業連合会は2015年から毎年夏に親子向けの「けんせつ小町活躍現場見学会」を開催している。「けんせつ小町」とは建設業で活躍する女性の愛称。見学会は普段見る機会の少ない建設現場や女性技術者の働く姿を紹介し、建設業の魅力や楽しさを一般の人に知ってもらうことを目的としている。今回で3回目の開催となり、7月21日から8月27日まで、全国の17現場で見学会が開かれる。

相鉄・東急直通線新横浜駅 地下鉄交差部土木工事

市営地下鉄の下をくぐる。5分おきに列車が通る

7月21日に横浜市港北区の新横浜駅地下鉄交差部土木工事の現場で見学会が行われ、小学1―5年生を含む14人が参加した。

工事概要の説明を受けた後、長い階段を下り地下20㍍の現場に降りていく。地下では横浜市営地下鉄新横浜駅の下に新駅をつくる工事が行われており、環状2号線（道路）の下で掘削作業が進んでいた。施工は鹿島、鉄建、不動テトラなどのJVによる。

足元は地下鉄、頭上は環状2号線が走る箇所に着くと、車が走るたびに構台がガタガタと揺れた。子供たちは普段は目にすることのできない地下工事に興味津々。見学後は地上に設置したお仕事体験コーナーで、高所作業車の乗車などを楽しんだ。池田悠里子ちゃん（10）は「普段見られない現場が見られて勉強になった」と充実した表情をみせた。

新横浜駅地下鉄交差部JV工事事務所の矢野孝司所長（鹿島）は「建設業はモノづくりの中でも一番規模が大きい。この中から興味をもって業界に入ってくれる人がいればうれしい」と語った。

海上での工事「大変そう」

女子児童を含む13人が参加した

今回2回目の参加となる佐々木心結ちゃん（11）は「海での工事は陸上で造ったものを運んでこなければならないので、陸での工事より大変そう」と話す。

見学後は工事事務所内でコンクリートを使った工作、鉄筋交差部の結束、測量の体験も行われ、子供たちの真剣な表情が見られた。

現場案内を担当した時松千夏さん（五洋建設）は「小さい子でもコンクリート工作など楽しんでもらえた。ぜひ建設業界に入ってほしい」と熱く語った。

地下20m 現場に興味津々

高所作業車に搭乗し子供たちは大喜び

けんせつ小町に聞く

鹿島
安形 早織 さん

共同でのモノづくりに魅力

建設業を志すようになったきっかけは、大学のインターンシップです。建設現場でモノづくりの最先端にふれ、構造物ができあがっていく過程を見て仕事のやりがいを感じました。大学院卒業後、2011年に鹿島に入社しました。現在は3現場目となる新横浜駅地下鉄交差部土木工事の現場で、工事係として働いています。

現場は男性の多い職場ですが、特に不便は感じていません。むしろ女性は珍しいので、職人から優しく声をかけてもらうこともあるくらいです。仕事は人と人とのやりとりなので、男女関係なくコミュニケーションが取れていれば問題ないと思います。多くの人とやりとりしながら、共同でモノを作り上げることが、建設業の魅力だと感じています。

私には4歳の子供がいますが、出産後、現場に復帰しました。そのような例はほとんどいないので、子供を産んでも現場に復帰できるという前例を作り、女性の選択肢を増やしたいです。

けんせつ小町に聞く

五洋建設
大島 香織 さん

女性の意見を発信したい

私は大学と大学院で土木工学を学んでいました。卒業後、1999年に五洋建設に入社し、関西空港の護岸築造工事の現場に配属されました。現場で4年間経験を積んだ後、技術研究所に移り、波と構造物に関する研究をしていました。波と構造物の相互作用をシミュレーションしたり、実験したり、数値計算を行っていました。2010年から土木設計部に配属となり、現在は主に発電所の港湾施設を設計しています。

私が入社した頃は女性が少なかったのですが、ここ数年で増えてきています。これからは女性が働きやすい仕組みづくりにも力を入れていきたいと思っています。女性社員の意見を会社の担当部署にあげる仕組みをつくったり、男の人では気が付かないような女性の意見を発信したりしていきたいです。

建設業はやりがいのある楽しい仕事です。やりたいという気持ちがある人にはぜひ入ってきてもらい、一緒に働きたいと思っています。

戸田建設が考える2030年の建設業の姿

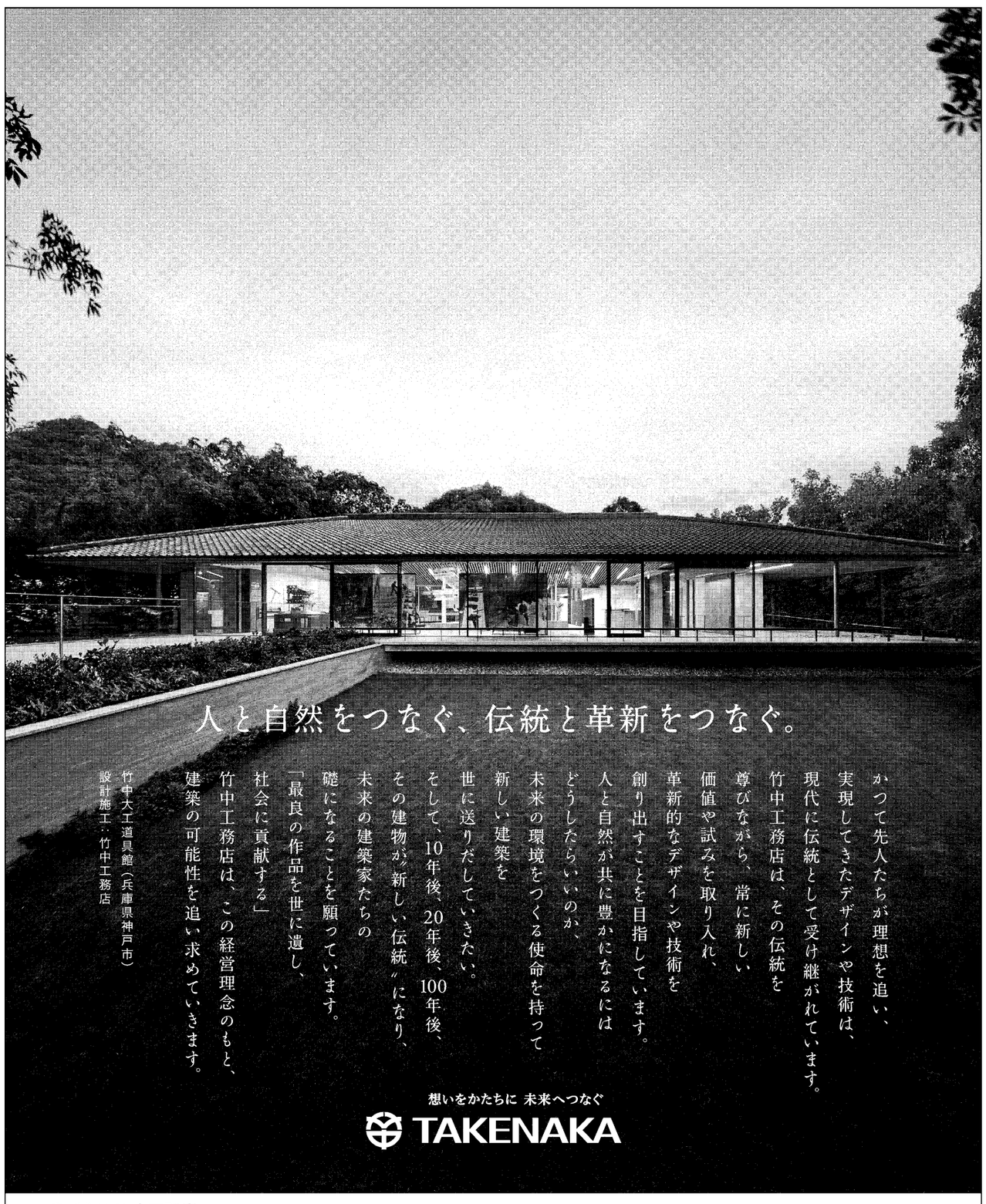
この先も、社会に新しい価値を提供していくために。戸田建設は建設業の新たな可能性を追求し、従来のやり方にとらわれない技術開発やオープン・イノベーションに挑戦していきます。「未来の歩き方」はその指針。あなたと共有したいビジョンです。この冊子の中には、10年、15年先に「できるはずの技術」を想定した、創造性豊かな建設業の未来が描かれています。建設現場の自動化に、AIやロボットとの協働で生産性はどんどん向上します。革新的な建設技術で、1000メートル超えの超高層ビルを日本に建てることだって夢じゃありません。テクノロジーとイノベーションで、建設業を次のステージへ。喜びがあふれる2030年を目指して、戸田建設は動きだします。

「未来の歩き方
～戸田建設が考える2030年の建設業の姿～」

内容は下記サイトにてご覧いただけます（ダウンロード可）。
www.toda.co.jp/mirai.html

戸田建設

戸田建設株式会社　〒104-8388 東京都中央区京橋1-7-1　TEL.0120-805-106（お客様センター：24時間365日受付）



株式会社 竹中工務店　本社：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201／東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000